

平成 26 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ実施報告書 (6)

特定非営利活動法人ちば里山センター

テーマ	第 6 回講義&フィールド研修 「安全な里山整備作業のための知識と技術の修得」
日時	平成 26 年 10 月 4 日 (土)
場所	さわやかちば県民プラザ 中研修室 1 (講義&W. S.) 「NPO 法人こんぶくろ池自然の森」活動地 (フィールド実習)
出席者	29 名 (欠席 9 名) 講師 3 名 アシスタント講師 3 名 主催者 2 名 スタッフ 1 名
内容	<p>9 : 10 ~ 12 : 00 講義 : * 「安全配慮義務について」 W. S. : * 「リスクアセスメントと危険予知」 講師 ; 千葉県森林組合君津支所 安全管理指導専門家 木村 正敏</p> <p>昼食後こんぶくろ池自然の森に移動して研修</p> <p>13 : 00 ~ 15 : 30 フィールド実習 : * 「刈払機、チェーンソー等の正しい使い方」 講師 ; 千葉県森林組合君津支所 木村 正敏 千葉県北部林業事務所印旛支所 普及技術員 野口安佳里 豊富どんぐりの森 中嶋 守男 アシスタント講師 : NPO 法人こんぶくろ池自然の森 会長 石渡 信之、事務局長 古橋 勲、萩原 秀夫</p> <p>15 : 45 ~ 16 : 30 フィールド見学 : 「NPO 法人こんぶくろ池自然の森」活動地 フィールド講師 ; NPO 法人こんぶくろ池自然の森 石渡 信之 古橋 勲 萩原 秀夫</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・木村講師による講義&W. S. 里山活動における労働災害の実情とそれを予防するにはどうしたらよいかというこれからの活動に即応した講義である。 ゼロ災運動の理念 = 「一人ひとりがカケガエノナイひと」という人間尊重の「理念」から出発する。 ゼロ災運動基本理念 3 原則 = 「ゼロの原則」「先取りの原則」「参加の原則」 ゼロ災運動推進 3 本柱 = 「トップの経営姿勢」「ライン化の徹底」「職場自主活動の活性化」 いろいろな場面を例にあげながらの説明で理解しやすかった。 ・次に、危険予知訓練のワークショップを実施。 各班ごとに、与えられた 1 枚の絵を基に、どんな危険が考えられるか？その予防にはどうしたらよいか？ リーダーの役割、少人数の小集団としてのチーム行動はどうあるべきかを、話し合いまとめていく KYT の訓練を実施。最後にまとめを発表。グループ行動の初めに行う指さし呼称の練習で、仲間としてのまとまりができたと思う。 ・昼食を終えてこんぶくろ池自然の森に移動し、団体の皆さんが用意してくれたブルーシート上で、チェーンソーの分解や手入れを体験。全員が研修して最後にエンジンをかけてみる。すぐかかる人あり、手こずる人ありであったが、アドバイスを受けながら、最終的には万増のいく結果が出たようであった。 ・最後に、会員さんの案内で自然の森を一回りしてきた。柏市や近くに住んでいる人も「知らなかった」と言いながら、歴史や活動内容の説明を受けていた。

添付資料（写真）



木村講師



巧みな話術で講義が進む



班ごとに分かれて W>S>



班ごとにテーマが違う
熱が入っている1班の話し合い



いろいろな想定をして
2班の話し合い



どんなケースなのか
こちら3班の話し合い



発表の時間
肩を組んで指さし呼称



班全員の発表
終わりに呼称



もっと大きな声で・・・
まとまりがよくなった



こんぶくろ池自然の森の
フィールドへ移動



チェンソーの仕組みと
手入れ法の説明



実際にやってみよう



手入れが終わってエンジンを
かけてみる



エンジンをかけるには
ちょっとしたコツがある



こんぶくろ池の森を一周して
解散